

予算審査特別委員会報告

予算審査特別委員会に付託されました議案につきまして、本特別委員会での審査の経過及び結果を御報告いたします。

はじめに、本委員会の経過を御報告いたします。

本委員会は、平成 28 年度当初予算に関する審査を目的として 2 月 22 日に設置され、3 月 8 日に当初予算に関する議案第 2 号から議案第 22 号までが本特別委員会に付託されました。

その後、総括質疑の開催、各分科会での詳細審査を終え、3 月 18 日に各分科会長報告、討論・採決を行い、本特別委員会での審査を終了したところであります。

各分科会報告では、御手元に配布のとおり 5 分科会の審査の過程で出された 14 項目にわたる要望等が報告されたところです。

それでは、各分科会報告の中から、次の 5 点を本委員会の要望等として申し上げます。

まず、平成 28 年度鳥取市一般会計についてであります。

1 点目は、雇用対策事業費についてであります。

近年、企業誘致も進み、雇用アドバイザーやコーディネーターを配置され雇用対策に取り組んでおられますが、まだまだ市内企業の情報が学生を中心に十分伝わっていません。

学生が市内企業に就職するためには、市内企業の情報が十分に提供されることが重要だと考えます。

学生がどのような意見を持っているか分析し、十分な情報提供ができる取り組みを進めるよう要望します。

2 点目は、土木総務費のうち、気高道の駅（仮称）整備事業費についてであります。

平成 30 年度末に完成予定の気高道の駅（仮称）は本市西部地域の地域活性化の拠点として期待されている施設です。

しかしながら、この施設の完成により、近隣の道の駅神話の里白うさぎの収益への影響が懸念されるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、基本設計の策定に当たり、それぞれの施設の役割分担を定め、ともに運営が成り立つよう考慮しつつ、事業を進めていただくよう要望いたします。

3点目は、新庁舎建設についてであります。

新庁舎建設については、適切な時期に適切な情報提供や予算確保をされるとともに、市民ワークショップや市民政策コメント等で市民の意見を十分に反映しつつ、平成31年度の新庁舎完成予定に遅れないよう、事業の進捗を図られることを求めます。

次に、議案第22号平成28年度鳥取市病院事業会計予算についてであります。

平成28年度当初予算は平成20年度に鳥取市立病院改革プランを策定され、平成23年度に黒字へ転換以降、初めてとなる赤字予算の編成となっています。

医師や看護師の確保が厳しい中、収益確保に不可欠である医師数の確保が出来ていないため、医業収益は減少し、赤字予算の大きな要因となっています。

今後、病院一体となり医師奨学生の募集・育成に取り組み、地域医療を支え、市民の命を守る医師の定着となるよう要望します。

また医師確保のみならず、入院患者への満足度調査の結果も踏まえ医療サービスのさらなる充実に努められるよう求めます。

最後に、予算編成についてです。

予算編成に当たり、国・県の動向に呼応した事業立案・予算要求が不十分ではないかとの意見がありました。

国・県からの情報を素早く的確に把握するとともに、全庁的に情報を共有し、有利な財源を効果的に活用した予算編成に、より一層努めていただくよう要望します。

それでは、審査の結果を御報告いたします。

- 議案第 3 号 平成 28 年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算
- 議案第 5 号 平成 28 年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算
- 議案第 6 号 平成 28 年度鳥取市駐車場事業費特別会計予算
- 議案第 7 号 平成 28 年度鳥取市国民健康保険費特別会計予算
- 議案第 8 号 平成 28 年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算
- 議案第 9 号 平成 28 年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算
- 議案第 10 号 平成 28 年度鳥取市土地取得費特別会計予算
- 議案第 11 号 平成 28 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算
- 議案第 13 号 平成 28 年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算
- 議案第 14 号 平成 28 年度鳥取市温泉事業費特別会計予算
- 議案第 15 号 平成 28 年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算
- 議案第 16 号 平成 28 年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計予算
- 議案第 17 号 平成 28 年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計予算
- 議案第 18 号 平成 28 年度鳥取市電気事業費特別会計予算
- 議案第 20 号 平成 28 年度鳥取市工業用水道事業会計予算
- 議案第 21 号 平成 28 年度鳥取市下水道等事業会計予算
- 議案第 22 号 平成 28 年度鳥取市病院事業会計予算

以上 17 案は、いずれも適切な措置と認め、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

次に

- 議案第 2 号 平成 28 年度鳥取市一般会計予算
- 議案第 4 号 平成 28 年度鳥取市簡易水道事業費特別会計予算
- 議案第 12 号 平成 28 年度鳥取市介護保険費特別会計予算
- 議案第 19 号 平成 28 年度鳥取市水道事業会計予算

以上 4 案は、一部委員の反対がありましたが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

最後に、執行部におかれましては平成 28 年度当初予算の執行に当たり、費用対効果、市民への説明責任などを念頭に置きながら、市民生活、福祉の向上に鋭意取り組まれるよう要望するとともに、各分科会からの報告に対して適切に対応されることを求めて予算審査特別委員会の委員長報告を終わります。

総務企画分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 2 号 平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、

議案第 7 号 平成 28 年度鳥取市国民健康保険費特別会計予算のうち

本分科会の所管に属する部分、

議案第 9 号 平成 28 年度鳥取市住宅新築資金等貸付事業費特別会計予算、

議案第 10 号 平成 28 年度鳥取市土地取得費特別会計予算、

議案第 13 号 平成 28 年度鳥取市財産区管理事業費特別会計予算、

以上 5 案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

議案第 2 号平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分についてであります。

まず、コンビニ交付関連事務費についてです。

住民票の写し等証明書のコンビニ交付は、夜間、休日でも証明書が取得できるようになるため、市民の利便性が大きく向上するものであり、積極的に推進すべきと考えます。

また、コンビニ交付を利用するためには、マイナンバーカードを取得することが必要となるため、カードを所持する大きなメリットとして市民へ十分に PR し、カードの普及促進を図ることも必要と考えます。

今後、コンビニを活用することにより市民サービスの向上が見込まれる事業については、個人情報の安全対策を図りながら、積極的に導入を検討されますよう要望します。

次に、首都圏・関西圏移住定住相談員設置事業費についてです。

鳥取県が首都圏に設置している相談員は、本市の相談員に比べて経験・情報が豊かであり、頼りにされているとの意見がありました。

本市の移住定住施策については、さまざまな事業の実施により、移住定住者数の成果も上がっていますが、移住定住の窓口となる相談員のレベルアップに努め、今後より一層、鳥取市に移住していただける方を呼び寄せる力を発揮していただくよう要望します。

次に、参議院議員選挙費についてです。

選挙権年齢が引き下げられたこと等に伴い、鳥取大学、公立鳥取環境大学に新たに期日前投票所を設置する予定となっております。詳細については選挙管理委員会で今後検討されるとのようですが、設置の時期など学生が投票しやすいよう配慮していただくよう要望します。

また、期日前投票期間の延長等の法改正が行われる予定ですが、変更となる点については適切な方法でしっかりと市民への周知をしていただくよう要望します。

最後に、予算編成についてです。

予算編成に当たり、国・県の動向に呼応した事業立案・予算要求が不十分ではないかとの意見がありました。

国・県からの情報を素早く的確に把握するとともに、全庁的に情報を共有し、有利な財源を効果的に活用した予算編成に、より一層努めていただくよう要望します。

以上で、本分科会の報告を終わります。

福祉保健分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 2 号 平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、

議案第 7 号 平成 28 年度鳥取市国民健康保険費特別会計予算のうち本分科会の所管に属する部分

議案第 8 号 平成 28 年度鳥取市高齢者・障害者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算、

議案第 12 号 平成 28 年度鳥取市介護保険費特別会計予算、

議案第 16 号 平成 28 年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計予算、

議案第 17 号 平成 28 年度鳥取市後期高齢者医療費特別会計予算、

議案第 22 号 平成 28 年度鳥取市病院事業会計予算、

以上 7 案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

まず、議案第 2 号平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分について報告いたします。

新生児聴覚検査費助成事業費についてであります。この事業は妊婦歯科健診事業費とともに、平成 28 年度当初予算案で市長が特に重点化とされている「ひとづくり」の事業であります。しかしながら、妊婦歯科健診事業費は 1 回の健診費用を全額助成するのに対し、新生児聴覚検査費助成事業費は 1 回の検査費用の一部を助成するとのことです。予算の目玉に挙げられているひとづくりを重視する市長の肝いり事業でありながら、負担に差があることは残念であり、次年度以降は負担が軽減されるよう事業費の拡充を望みます。

次に、議案第 16 号平成 28 年度鳥取市介護老人保健施設事業費特別会計予算について報告いたします。

介護老人保健施設改修事業費についてですが、施設を改修する際の改修費負担のルールが明確でないように思われます。指定管理者が負担できる場合は負担させるという考え方ではなく、経営努力が報われる仕組みづくりも必要と考えます。

他の指定管理施設との整合性を図る観点から、基本的ルールを契約等で明文化されるよう改善を求めます。

最後に、議案第 22 号平成 28 年度鳥取市病院事業会計予算についてであります。

平成 28 年度当初予算は平成 20 年度に鳥取市立病院改革プランを策定され、平成 23 年度に黒字へ転換以降、初めてとなる赤字予算の編成となっています。

医師や看護師の確保が厳しい中、収益確保に不可欠である医師数の確保が出来ていないため、医業収益は減少し、赤字予算の大きな要因となっています。

今後、病院一体となり医師奨学生の募集・育成に取り組み、地域医療を支え、市民の命を守る医師の定着となるよう要望します。

また医師確保のみならず、入院患者への満足度調査の結果も踏まえ医療サービスのさらなる充実に努められるよう求めます。

以上で、本分科会の報告を終わります。

文教経済分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第2号 平成28年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、
議案第4号 平成28年度鳥取市簡易水道事業費特別会計予算、
議案第5号 平成28年度鳥取市公設地方卸売市場事業費特別会計予算、
議案第14号 平成28年度鳥取市温泉事業費特別会計予算、
議案第15号 平成28年度鳥取市観光施設運営事業費特別会計予算、

以上5案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について3点報告します。

議案第2号平成28年度鳥取市一般会計予算のうち、本分科会の所管に属する部分についてであります。

第1点目は、通学路の安全点検についてであります。

通学路の安全点検については、平成26年度から教育委員会所管となり、通学路安全対策推進協議会を設置し、関係者で合同点検を実施されています。

平成24年度から平成26年度までの合同点検で必要だと思われた通学路整備の未実施箇所が129カ所あり、道路管理者である市、県、国等に対して早急に整備していただくように要請されているところです。

今後も、保護者と学校、地域の代表も含めた校区全体で安全点検の実施に取り組み、児童生徒の安全な通学路の確保に努められるよう要望します。

第2点目は、雇用対策事業費についてであります。

近年、企業誘致も進み、雇用アドバイザーやコーディネーターを配置され雇用対策に取り組んでおられますが、まだまだ市内企業の情報が学生を中心に十分伝わっていません。

学生が市内企業に就職するためには、市内企業の情報が十分に提供されることが重要だと考えます。

学生がどのような意見を持っているか分析し、十分な情報提供ができる取り組みを進めるよう要望します。

第3点目は、クレー射撃場の管理運営についてであります。

整備を進めていたクレー射撃場が28年度から再開されます。射撃場の運営は当面直営とのことですが、指定管理への移行も今後検討していくということでした。指定管理への移行に当たっては、適正な運営ができる管理者を慎重に選定されるよう要望します。

以上で、本分科会の報告を終わります。

建設水道分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 2 号 平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、
議案第 3 号 平成 28 年度鳥取市土地区画整理費特別会計予算、
議案第 6 号 平成 28 年度鳥取市駐車場事業費特別会計予算、
議案第 11 号 平成 28 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算、
議案第 18 号 平成 28 年度鳥取市電気事業費特別会計予算、
議案第 19 号 平成 28 年度鳥取市水道事業会計予算、
議案第 20 号 平成 28 年度鳥取市工業用水道事業会計予算、
議案第 21 号 平成 28 年度鳥取市下水道等事業会計予算、

以上 8 案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

まず、議案第 2 号平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分について報告いたします。

土木総務費のうち、気高道の駅（仮称）整備事業費についてであります。

平成 30 年度末に完成予定の気高道の駅（仮称）は本市西部地域の地域活性化の拠点として期待されている施設です。

しかしながら、この施設の完成により、近隣の道の駅神話の里白うさぎの収益への影響が懸念されるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、基本設計の策定に当たり、それぞれの施設の役割分担を定め、ともに運営が成り立つよう考慮しつつ、事業を進めていただくよう要望いたします。

次に清掃総務費のうち、ごみ減量化推進事業費、小型家電リサイクル事業費についてであります。

これらの事業は、ごみの減量化・再資源化の推進を図るためには効果的な事業です。

そこで、さらなる事業の推進を図るため、事業所向けの新たなごみの減量化施策の検討や、市民への積極的な事業の PR が必要であるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては、事業の効果を広めるための、よりよい取り組みを進めていただくよう要望いたします。

最後に、議案第 19 号平成 28 年度鳥取市水道事業会計予算、議案第 21 号平成 28 年度鳥取市下水道等事業会計予算について報告いたします。

平成 28 年は下水道使用料改定に関する条例案の提出、水道事業審議会答申に基づいた料金改定の検討が始まるなど、今後、上下水道ともに使用料金の見直しが進められる予定です。

人口の減少、企業の節水対策などに伴う営業収益の減少が改定の背景にあることは理解しますし、日々、経営に努力されていることは十分承知していますが、使用料金の改定は市民生活への負担が大きく、市民の理解を得る努力が必要であるとの指摘が分科員からありました。

今後、執行部におかれましては市民の理解を得るため、施設の管理コストの縮減を最大限図るなど、市民の負担を軽減する最善の努力を行ったうえで、中長期の経営計画などをしっかり立て、使用料金の見直しを進められるよう要望いたします。

以上で、本分科会の報告を終わります。

新庁舎建設分科会での審査の結果を御報告いたします。

議案第 2 号 平成 28 年度鳥取市一般会計予算のうち本分科会の所管に属する部分、

本案について、本分科会での審査の過程において各分科員から出されました意見について報告します。

新庁舎建設については、適切な時期に適切な情報提供や予算確保をされるとともに、市民ワークショップや市民政策コメント等で市民の意見を十分に反映しつつ、平成 31 年度の新庁舎完成予定に遅れないよう、事業の進捗を図られることを求めます。

以上で、本分科会の報告を終わります。